

としよだより

6月号

駒西小学校 学校図書館支援員 坂井



暑い戦いをくり広げた運動会が終わり、静かな雨の時季になりました。梅雨は、1学期の本の季節。普段あまり本を手にとらない人も、おとぎの森のじゅうたんのうえや、図書室の「くつろぎコーナー」で、ゆったり過ごしませんか。

移動図書館「ともしび号」の本

ともしび号で借りた本は、次のどちらでも返すことができます。

- ★おとぎの森・図書室の「ともしび号」用の箱に入れる
- ★市立図書館へ持って行く

おとぎの森・図書室のようす

<こすもす> 読み聞かせ

<1年生> オリエンテーション、読み聞かせ

<2年生> 国語「たんぽぽのちえ」ブックトーク、読み聞かせ

<6年生> 仕事インタビュー

などで利用されていました。

としよクイズ

日本のおかし話の題名と内容の組み合わせを、線で結んでね！

- 『ももたろう』 ● ● くまにも勝つ力持ちのうわさが広まって…
- 『きんたろう』 ● ● きびだんごを持って、おにたいじに…
- 『うらしまたろう』 ● ● 浜辺でいじめられていた亀を助けて…

答えは、おとぎの森・図書室のおたよりを見てね☆

読書感想文コンクール課題図書

読書感想文全国コンクールの課題図書が、これから各クラスへ順番に回ります。夏休みの宿題で挑戦しようかなという人は、ぜひ手に取ってみてください。

1、2ねんせい

『ライオンのくにのネズミ』

さかとくみ雪/作, 中央公論新社



家族でライオンの国に引越し、転校したネズミ。言葉はわからないし、ライオンはこわい。もう帰りたい…。でも、たった1人、友だちになったリスをライオンにバカにされて、サッカー対決をしたら、知ろうとしていなかったライオンの意外な気持ちがわかって…？

『ぼくのねこポー』

岩瀬成子/作, 松成真理子/絵, PHP研究所



学校の行き帰りに出会ったねこ。のらねこかな？すてねこかな？家に連れ帰ったぼくは、おかあさんに「箱にとじこめられていたの」とうそをついた。飼われているねこじゃないといいな。ぼくんちのねこになってほしいな。でも、クラスにやってきた転入生の森くんから、いなくなった飼いなねこを探しているって聞いて…。

『ともだち』

リンダ・サラ/作, ベンジー・デイヴィス/絵, しらいすみこ/訳, ひさかたチャイルド



エトとぼくは毎日、おかのう上にだんボールばこを引っぱって遊ぶ。ぼくは「ふたりいっしょ」が大好き。そこへ、知らない男の子がやってきて「なかにいれてくれる？」って言った。エトは「いいよ」って言ってその子と遊ぶようになったけれど、ぼくは…。

『ワレワレはアマガエル』 松橋利光/文・写真, アリス館



みんなは「カエル」って聞くと、どんなカエルを思いうかべる？多くの人が思いうかべる特ちょうは「アマガエル」に当てはまるんだって。田んぼにすんでいる、私たちに身近なアマガエル。春におすとめすが会ってたまごをうんでから、冬に冬眠するまでの一年間の様子を、楽しくわかりやすく教えてくれる写真絵本。

3、4年生

『ふみきりペンギン』



友だちに左ききをばかにされたゆうとは、元気をチャージしに来た電車のふみきりで、言葉をしゃべるペンギンに出会った。…「ふつう」って何だろう。「ふつう」じゃなきゃいけないのかな。「ふつう」と「不思議」の間にいる小学3年生たちのお話。

おくはらゆめ/作・絵, あかね書房

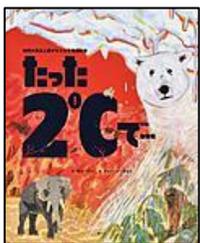
『バラクラバ・ボーイ』



転入生のトミーは、いつでもバラクラバ帽をかぶっている。なぜだろう？個人的なことだとはわかるけれど、理由を知りたくてたまらない。そんなある日、上級生のいじめっ子が、トミーのバラクラバを無理矢理取ろうとした！助けに入ったぼくたちは、トミーの味方だって示すために、あることを思いついて…！

ジェニー・ロブソン/作, もりうちすみこ/訳, 黒須高嶺/絵, 文研出版

『たった2℃で…地球の気温上昇がもたらす環境災害』



私たちの体温は、2℃上がるだけで“病気”。それは地球も同じなんだ。それどころか、2℃の変化が20℃に感じられる生きものもいる。このまま地球温暖化が進めば、植物も動物も生きられない。「たった2℃」がどれくらい危険なのか知ってみよう！

キムファン/文, チョンジンギョン/絵, 童心社

『ねえねえ、なに見てる？』



色の見え方が他の人と違う、ぼくの世界。肉や魚を食べないねえさんから見た世界。小さい弟から見たら、何もかもが大きな世界。同じ景色でも、人はそれぞれ見えているものが違う？私たちが誰もがかけている「目に見えないメガネ」を通して、みんながどんな風にもわりを見ているのか考えてみよう！

ビクター・ベルモント/絵と文, 金原瑞人/訳, 河出書房新社

5、6年生

『ぼくの色、見つけた！』



他の人と色の見え方が違う信太朗。お母さんに「かわいそう」って言われたり、友だちにからかわれたりしたこともあったから、もやもやして、ずっと隠してきた。でも、5年生の担任の先生は、そっと配慮して、素敵な言葉をくれる。それがきっかけで信太朗は、自分だけに見える「色」を見つけ、夢中になってキャンバスに向かうようになる一。

志津栄子/作, 末山りん/絵, 講談社

『森に帰らなかったカラス』ジーン・ウィリス/作, 山崎美紀/訳, しらこ/画, 徳間書店



第二次世界大戦の記憶が残るイギリス。生きもの好きな少年ミックは、公園でけがをしたニシコクマルガラスのひなを保護する。ジャックと名付けたひなはミックになつき、回復しながら成長して、地域の人気者になるが…。ロンドン動物園の元飼育員の実話にもとづく物語。

『マナティーがいた夏』エヴァン・グリフィス/作, 多賀谷正子/訳, ほるぷ出版



小学校最後の夏休み。認知症のおじいちゃんのお世話係をしながら、親友のトミーと生きもの観察を楽しむピーターは、いつもの運河でマナティーと出会う。けれどマナティーの背中には、モーターボートとぶつかってできたたくさんの傷があった。家族、友だち、野生生物…ピーターと、ピーターの大切なものを取り巻くひと夏の物語。

『とびたて！みんなのドラゴン 難病ALSの先生と白明小合唱部の冒険』オザワ部長/著, 岩崎書店



内気な性格で、人前で話すことができない6年生のマナミは、小学校の合唱部のコンサートに感動し、入部を決める。私も合唱部のみんなみたいになれるかな…。一方、4月に合唱部の顧問になったばかりの竹永先生には、まだ子どもたちの知らない秘密があった。それは、先生がALS(筋萎縮性側索硬化症)という難病を抱えているということ。一緒に悲願の合唱コンクール全国出場を目指す、子どもたちと先生。その眩しい一年間と快進撃を描いた、本当のお話。